

2021年度 尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業実施報告

教育・研究活動名

「地域と大学の宝が、活動を通して、共に学び育つ」

園田学園女子大学総合健康学科江峯ゼミ（3回生）×NPO法人スマイルひろば

【目的】

近年、地域の様々な課題解決のために、福祉と教育の連携が求められている。すなわち、地域の教育課題に取り組むことが地域の福祉課題解決につながると考えた。

尼崎市には他都市同様、不登校、いじめ、体罰、メンタルヘルス（コロナ禍によるストレス）等様々な教育課題がある。本活動の目的は、学生がNPO法人スマイルひろばでの活動を通して、自身の資質能力を高め、地域課題に向き合うことで地域課題解決貢献に資することとした。

SONODA Yogo teacher course Since 2010

活動方法 養護教諭志望の学生×地域の子どもたち

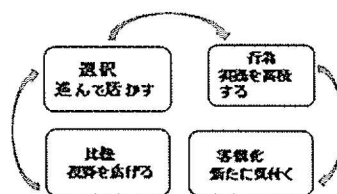
* NPO法人スマイルひろばが運営を行う

放課後の居場所

「尼崎市立地域総合センター神崎」での
「放課後の居場所」

小学生から
中学生まで

- ・科目「健康学演習」（ゼミ）で学外見学（研修）の位置付けとする。
- ・通年で一人10回、学生が自分でスケジュール調整をする。
- ・内容は子どもたちに合わせて、学習支援・遊び支援を行う。
- ・1回の訪問人数は2名とする。
- ・活動時間は90分とする。
- ・毎回、活動記録で振り返る。



園田学園女子大学総合健康学科教育実践（三時）

SONODA Yogo teacher course Since 2010

活動報告

活動の流れ（年間）

2021年5月 9日（木）～12月12日（木）

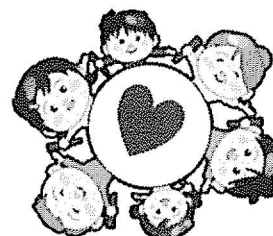
【1学期】

2021年5月 9日（木）～ 7月 9日（火）

【2学期】

2021年9月10日（火）～12月12日（木）

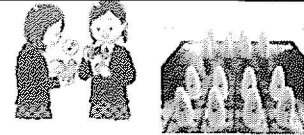
- ・5名が、2学期の「養護実習（3～4週間）」を挟んでの活動であった。
- ・のべ活動回数：80回



SONODA Yogo teacher course Since 2010

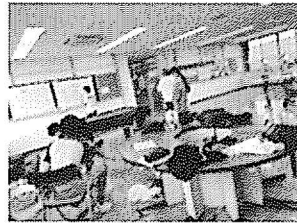
活動報告

活動の流れ (1回)



《小中学生対象》
(15:30~17:00)

- ・小中学生が来館し自由に過ごす中で、学習支援・遊び支援を行った。
【室内】宿題・折り紙・おしゃべり・カードゲーム等
【室外】おにごっこ・バトミントン・バスケットボール等



SONODA Yogo teacher course since 2010

活動報告

活動の成果

当日の振り返り

～NPO担当者×学生×江崎先生 みんなで振り返り～

◇毎回、活動時間終了後、別室で5分程度で全員が活動を振り返る。

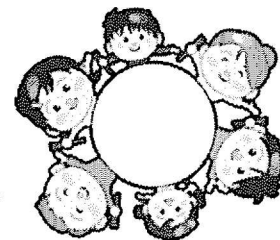
- ・活動に参加して感じたこと(感想)
- ・子どもの様子で気になったこと(発言・態度など)
- ・こういう時どうしたらいいの？

⇒NPO担当者から、コメント・アドバイス

SONODA Yogo teacher course since 2010

・感想 (学生)

- * 一人一人に対して評価をいただきありがたかった。
- * 自分が90分何をしていたか振り返り、次にどうすればよいか、フィードバックできた。
- * 自分の反省点を伝えると、次への課題等一緒に考えてくださり、次回につなげていくことができた。
- * 気になった点をすぐに話せる近さが良かった。
- * 毎回、自分のことを振り返ってステップアップできた。



活動記録の作成

～学生個人の振り返り～

◇学生は毎回、個人で活動を振り返る。
活動記録（A4 1枚）を作成しゼミ担任（江崎）へ提出
⇒江崎のコメント ⇒NPO担当者のコメント ⇒ 返却

【内容】

- ・ 本日の目標 ・ 本日の活動内容
- ・ 活動の振り返り（エピソード、感想、学んだこと、疑問など）
- ・ 次回の目標 ・ 指導者のコメント

SONODA Yoga teacher course (Since 2010)

・感想

- * 記録を残しておくことで今までの活動を振り返って、次の目標を決めることができた。
- * 口頭では言いにくかったことや相談したいことも記入できて、次の活動がしやすかった。
- * コメントを記入していただいたことで改めていろいろな発見をすることができた。
- * NPO担当者（身近で具体的な意見）と江崎先生（客観的な意見）の二つの意見があったかった。

記入欄

SONODA Yoga teacher course (Since 2010)

「NPO法人スマイルひろば」より

- * 顔なじみになる程度の頻度で関わって頂く中で、地域の子どもたちの優しさや成長を、客観的に見つけ、子どもたちに声かけをしてもらえたことは、子どもたちにとって貴重な経験だと感じました。
- * 子どもたちにより近い年齢の学生のみなさんが、受容的に、楽しくふれあってもらうことで、子どもたちがいろんな話をしていたり、私たちだけでは分からない様子をキャッチできたことは、毎回の振り返りからも学びになりました。
- * 「よくない言動」と捉えられる子どもたちの振舞いの背景にどんな要因があるのか、お互いの気づきや視点から意見交換する中で、改めて考えることができ、今の子どもたちをめぐる環境を、これから学校現場等へ進まれる学生のみなさんと共有することが出来たのは、地域で活動するものとして、とても心強かったです。

SONODA Yoga teacher course (Since 2010)